

議題	第16回運営推進会議
日時	2024年2月21日(水) 10:30~11:30
場所	ふじしろデイサービス
出席者	(順不同敬称略) 三島地区地域包括支援センター I 様 利用者様ご家族 S 様(ご主人、ご子息) ふじしろデイサービスセンター長 渡部浩考 ふじしろデイサービス管理者 松本順子 (議事録作成者) 渡部浩考 (議事進行者)松本順子
会議の詳細	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● ごあいさつ (センター長 渡部浩考) ～出席者のご紹介、本会議の趣旨(目的)について～</li> <li>● ふじしろデイサービスのご紹介 (センター長 渡部浩考) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現況/ご利用状況等</li> <li>・ 要介護 1-5 まで幅広く対応している</li> </ul> </li> <li>● 脱コロナ (センター長 渡部浩考) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナが 5 類へ移行されて 1 年近くが経過</li> <li>・ 脱コロナへの転換を意識して活動を続けてきた</li> <li>・ BCP(事業継続計画)の整備もされ、不測の事態への対応力はついてきている</li> </ul> </li> <li>● 動画「安心してらせる街づくり」 認知症の現実を踏まえた街づくりの事例を動画で紹介 →ふじしろは小規模な事業所ですが動画で描かれていたような地域との連携や 認知症の方にとっての居場所作りを強く意識した運営をしています</li> <li>● ふじしろデイサービスの活動 (管理者 松本順子) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 藤代町内の夏祭りにおける「涼み処」としての事業所開放</li> <li>・ 藤代町内むけのミニ企画 (ハロウィン)</li> <li>・ 脱コロナを踏まえた外出機会</li> <li>・ 調理企画では、それぞれの方の能力を存分に発揮していただく</li> </ul> </li> </ul> <p>※写真を投影(プロジェクター)しながらの活動報告</p>	

● 意見交換（話題ごとに整理して記録）

<利用者様 ご家族について>

S様(ご子息)

昨年末頃から利用を開始しましたが、ケアマネさんが上手に説明してくださり、本人の出掛ける気持ちを作ってくれた。「他の利用者の話相手になってくれませんか」

そのおかげで今は楽しみに通うようになっており、表情も穏やかになったと感じている。頑固な性格なので「イヤだ」というかと思っていたが、料理でお団子を作った話などを楽しくしてくれるので安心した。

父とずっと一緒に家にいると、ちょっとした喧嘩になってしまうこともあり、大きな声が出てしまうこともあったが、外に出かけることでお互いに気分転換が出来る

S様(ご主人)

私も今年で 90 歳になります。耳が聞こえにくくなってきたりもしているので、余計に大きな声になってしまうこともあります

センター長 渡部

ご主人はテニスや野球もしていたということもあり 90 歳とは思えないですね

管理者 松本

お嫁さんも含めてご家族でお母さまのことをしっかりと見てくださっているのだな。と感じています。割烹着も用意してくださっていますよね。そういうご支援もあったからこそサービス利用に順調につながったのだと思います

<ふじしろの運営について>

S様(ご子息)

利用されている方の年代はどういう感じなのですか

管理者 松本

一番若い方だと 60 代後半ですが、主に 80~90 代の方が多いです。年代の幅がありますが、皆さん人生経験も豊富ですので、年齢差が問題になることはありません。

S様(ご子息)

母にとって出かける場所が出来て良い刺激になっていると思います。なんでも夢中になって取り組む性格です。以前は市内の介護施設で介護職として働いていたのですが、そのときもバイクに乗って職場まで通い続けて、一生懸命に働いていました。

センター長 渡部

小規模事業所に通われる方は「認知症」の方が多いです。大きな集団だと混乱してしまうことが多いからです。小集団だと個々の個性が表現されやすくなりますが、職員がペース配分やコミュニケーションの仲介役として支援させていただいています。

S様(ご主人)

写真を持って帰ってきて喜んでいました。アルバムも準備しました。

センター長 渡部

認知症の方にとって写真は分かりやすい記憶の補完になりますので、上手に活用できればと考えています。最近ではタブレットで写真をパラパラと見たりすることもあります

<地域活動について>

管理者 松本

動画でもコミュニティカフェのようなものが出てきましたが、旭ヶ丘でも似たような取り組みは行われていますか？光が丘での取り組みはよく耳にします。藤代町もコロナ前までは毎月1回カフェが開催されていてふじしろデイを開放していました。

S様（ご子息）

詳細までは分かりませんが、老人センターなどで催しのようなものが開催されているのは耳にします。よく考えたら私も60歳以上なので参加できるのですが(笑)。

地域包括 I様

ふじしろデイは地域に根付いた活動をやってくれているので社会資源としての存在感を発信してくれていると思います。介護事業所は閉鎖的になりがちの中で上手にオープンな発信と地域と相互に繋がろうとしてくれていると思います。

センター長 渡部

お忙しいところありがとうございました。知ってもらおうということはとても大切なことで今回は16回目の開催となりました。これからもコツコツと続けていきます。

S様も帰りがけにお母さまの様子をご覧になって、声もかけてください。

次回はまた半年後の令和6年8月を予定しています。